

# 地域とともに歩み育てる学校づくり

## 坂井市立大石小学校

### 1 取り組みの概要

#### (1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	0回
地域及び家庭への学校公開	5回(のべ)5日

#### (2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	15人
授業ボランティア(含:低ボラ)	25人
登下校支援ボランティア	3人
その他(大石見守り隊)	52人

#### (3) 特色ある活動

テーマ「ふるさと教育」(地域に支えられる活動)

#### 具体的活動内容

本校は、坂井平野のほぼ中央に位置し、稲作地域に囲まれ、自然環境に大変恵まれた中に位置する。そのため、特色ある学校づくりの一環として、「総合的な学習の時間」では、「米作りにチャレンジ」と題して、稲作体験活動をしている。地域に住む農家の方の協力を得て、米作りに関する様々な体験をしている。活動を通して、米栽培の工夫や努力を理解したり、栽培を支えている地域の人々に共感したりして、作物を育てる素晴らしさや農業の大切さを知り、地域とのかかわりを考えさせている。



< 4月26日 田んぼへの肥料まき >

地域学校協議会のMさんを中心にして、保護者や地域の祖父母にお手伝いを依頼して、田植えをしました。ほとんどの子は、初体験ということで、田に入るときも、キャーキャー言いながら、おそろおそろ足を踏み入れていました。びっくりするほど手際よく、苗を渡すボランティアの方を急がせるほどでした。1時間ほどで作業は終了しました。



< 5月20日 田植え >



< 昔ながらの六角で田にます目をつける >

【児童感想】 今日、田植えをしました。初めにマス目をつけました。入る時どきどきしました。入ったら温かくて、ぬるぬるしていました。いよいよ苗植えです。2、3本持って植えていきました。楽しくて楽しくて、持っていた苗がすぐなくなってしまいました。コシヒカリの苗はとても根が長かったです。



稲刈りや脱穀をするのはどの子も初めてで、昔の人の米作りの大変さを体験することができました。地域の祖父母の方が懇切丁寧に教えてくださり、昔とった杵柄を披露してくれました。

< 9月22日 稲刈り >



< 11月12日 もちつき大会 >  
食べ物のありがたみがよくわかりました。おもちは本当においしかったです。これからもふるさとを大切にしていきたいです。



< 10月6日 脱穀 もみすり >

【児童感想】

きねでもちをついてみました。見た目よりも難しかったです。このもち米は、ぼくたちが春に植えたものです。そして秋に稲刈りを行い、Mさんに精米してもらったものです。農家の仕事の大変さと、

成果と課題

- ・本校の地域学校協議会の委員さんが中心になって、子どもの野菜作りやそば作りなど年間学習計画に沿った様々な体験活動の協力を得ることができた。今年度の児童や保護者の教育評価において、「学校は、子どもが楽しく学ぶために、多様な体験活取り入れている」では、87%という高い評価結果であった。
- ・児童は、この米作り活動を通して、地域の農家の方の米作りに対する工夫や努力苦勞などを学ぶことができた。児童自らが米作りを体験することで、地域でさかんな農業について学び、また「食」に対する心構えや、伝統的な食文化についても学ぶことができた。自分たちで作った米を食することで、食べ物に対する感謝の気持ちも抱くことができ、道徳的な価値も少くない活動である。今後も、地域の方々のご協力を得ながら、児童に米作りにチャレンジさせていきたい。
- ・学校開放や発表会、その他いろいろな公開の場を設けることによって、学校での子どもの様子や活動の情報を発信していくことが大切である。保護者だけでなく、祖父母や地域の方々にもますます学校に関心を持っていただくことが、地域の学校として重要な課題である。また、地域学校協議会の委員さんも学校と地域の橋渡しとして各種の行事に来校され、さらなる学校や児童の現状に目を向けてもらうことに努めることが課題である。

